

Title	表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (2006), 85(5): 722-724
Issue Date	2006-02-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/110394
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成18年2月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第85巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.85 no.5

物性研究

2006 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集部より

2006 年度「物性研究」会費納入について

2006 年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 86 No.1 - 6 (2006 年 4 月号 ~ 9 月号)

Vol. 87 No.1 - 6 (10 月号 ~ 2007 年 3 月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、2006 年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額 9,600 円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は 2006 年 3 月末までにお願ひします。

中止は巻の切れめしかできませんので、2005 年度 (Vol. 83 No. 6 まで) で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、自動的に継続されますのでご注意ください。

2005 年度の会費が未納の方 (封筒に未納額を記載) は、早急にお振込くださいますようお願いいたします。

機関会員 (公費 / 請求書類の必要な場合) による購読の場合は、年額 19,200 円となり、後払いが可能です。詳細は下記にお問い合わせ下さい。購読の中止は巻の切れ目しかできませんので、できるだけ早めにご連絡下さい。連絡の無い場合は、自動的に購読継続となります。

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel. (075) 722-3540, 753-7051

Fax. (075) 722-6339

郵便振替口座 01010-6-5312

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

大学生の就職活動が、以前と比べ大きく変わってきているように思います。私が学生だった90年代前半は、三月くらいからぼちぼち始めようかというノリで、二、三ヶ月も経てばそれなりのところから内定通知をもらえたものでした。今の修士課程の学生は、一年の秋口からセミナーや面接が目白押しで、大阪、東京と東奔西走しています。話を聞くと、まずエントリーシートという書類を作成する必要があり、その審査を通過して初めてスタート地点にたったといえるそうです。エントリーシートには、通常の履歴書のほか、志望動機、自己分析などを各会社の様式に応じて記述しないといけません。いろいろな会社をみてみたいですから、何十もの書類を作成する人もいるようです。その文章量は相当なもので多大な労力と時間を要しますので、研究どころではありません。その後、やっと面接（1次、2次…）などの次の過程へと進むようです。

このように就職活動の変化には、いろいろな原因があるように思えます。まず、第一にインターネットの功罪が挙げられます。インターネットにより会社の情報を簡単に得ることができるようになりましたが、それは全ての学生にいいことであり、情報過多になった分、選択肢が増え、学生の負担がむしろ増えたのではないのでしょうか。また、そのような手続きはすべて電子メールで行います。封筒に住所を書いたり、切手を貼ったり、電話を担当者にかけたりしなくていいのは一見すると楽ですが、これも全ての学生に共通であり、「とりあえずだしてみよう」といった志望者の増加の原因になっているでしょう。私たち研究の世界でも、電子メールで研究が効率的に進めることができるようになったと感ずることはありますが、欲しくない部類のメールが気安く、しかも大量に送られてくるため、時間はむしろなくなったと感じます。

第二に絶対的な価値観の崩壊です。以前は、大きい会社＝良い会社という物差しがありましたし、研究室の先輩や教授が勧めるところにいけば良いだろうと考える風潮がありました。しかし、一般企業にとって終身雇用制は今や風前の灯であり、時代は大きく変動しています。絶対的な物差しがなくなったので、先輩や教授らに頼るのではなく、自分で動いて、自分の物差しで判断したいと考える傾向があるようです。インターネットに溢れる情報や就職セミナーで得る情報からどこまで正しく判断できるかは私にはよくわかりませんが、過信は禁物でしょう。

第三に大学院生としての自覚の問題です。日本の大学は大学院生でも授業料を納付しないといけません。大学（指導教授）に雇用され一人前の研究者として扱われる海外の大学院生に比べて、大学生気分が抜けないのは致し方ないことかもしれません。しかし、この点は今も昔も同じです。ただ、大学院に入ったら勉強ではなく研究

を実際に行い、スキルアップするという志を持った学生が減っているように感じます。むしろ、大学院を六年一貫の大学の最後の二年ととらえているようです。

最後に企業の倫理観の問題です。会社が優秀な学生をとりたい気持ちはわかりますが、超のつく青田買いはほどほどにして欲しいと思います。さらに就職が決まった学生に対し、すでに社員教育として過酷なレポートを課しているところもあります。このような規制緩和は、大学の教官にとって本当に困ることです。海外の研究グループとの競争力を落とすことにもつながりかねないと懸念します。

こうしてみると、大学の教官が良く言う「学生の気質が昔と変わった」という問題は、学生だけの責任ではなく、大学、企業も含めた日本の社会全体の問題としてとらえる必要であるように思えます。

(直交ダイマー)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (パリ第7大学・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

を実際に行い、スキルアップするという志を持った学生が減っているように感じます。むしろ、大学院を六年一貫の大学の最後の二年ととらえているようです。

最後に企業の倫理観の問題です。会社が優秀な学生をとりたい気持ちはわかりますが、超のつく青田買いはほどほどにして欲しいと思います。さらに就職が決まった学生に対し、すでに社員教育として過酷なレポートを課しているところもあります。このような規制緩和は、大学の教官にとって本当に困ることです。海外の研究グループとの競争力を落とすことにもつながりかねないと懸念します。

こうしてみると、大学の教官が良く言う「学生の気質が昔と変わった」という問題は、学生だけの責任ではなく、大学、企業も含めた日本の社会全体の問題としてとらえる必要であるように思えます。

(直交ダイマー)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (パリ第7大学・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 85 卷第 5 号 (平成 18 年 2 月号) 2006 年 2 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹 〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 **01010-6-5312**

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 85-5 (2月号) 目 次

○シリーズ「化学からみた物性物理」

・生物分子モーターのステップ計測と運動解析

.....西山 雅祥、曾和 義幸、石島 秋彦..... 593

○研究会報告

「ナノバイオダイナミクス」..... 622

○修士論文 (2004年度)

遺伝子ネットワーク再構成による遺伝子発現ダイナミクスの定量的解析

.....前多 裕介..... 685

○編集部より

2006年度「物性研究」会費納入について..... 722

○編集後記..... 723

物 性 研 究 85-5 (2月号) 目 次

○シリーズ「化学からみた物性物理」	
・生物分子モーターのステップ計測と運動解析	
.....西山 雅祥、曾和 義幸、石島 秋彦.....	593
○研究会報告	
「ナノバイオダイナミクス」.....	622
○修士論文 (2004年度)	
遺伝子ネットワーク再構成による遺伝子発現ダイナミクスの定量的解析	
.....前多 裕介.....	685
○編集部より	
2006年度「物性研究」会費納入について.....	722
○編集後記.....	723